

Deloitte.

デロイトトーマツ



Deloitte PRIDE

LGBT+ Inclusion / Allyship



LGBT+ 当事者として肌で感じるのは、入社直後(10年近く前)とは比べものにならないくらい、制度面が整備されたことと、社内でもLGBT+への認知度が高まったこと。各種福利厚生制度では、同性パートナーも配偶者として定義されているし、アライをはじめとした啓発活動全般で精神的な安心感というベネフィットを受けている実感があります。新しいものを受け入れる風土が根付いていることも感じますね。



「個々のユニークな経験や視点が、ビジネスにとってかけがえのない価値をもたらす」という共通認識が組織風土の中で浸透しており、一人のLGBT+ 当事者として多角的にサポートされていると感じています。そんな個人がチームにもたらす価値や、多様なメンバー間で起こる化学反応そのものがデロイト トーマツ グループのカルチャーであり、LGBT+コミュニティを含む、多様なメンバーを尊重することにつながっています。



PRIDE @ デロイトトーマツグループ



一人のアライとして、社内のアライネットワークに加わってみたり、周囲に声を掛けてLGBT+ 関連のイベントに参加してみたり。何事も一歩踏み出すきっかけは大事ですし、一人ひとりが変われば、それは社会が、未来が変化することに繋がるんですね。アライとして、子を持つ親として、誰もが好きなものを好きと言って、ありたい自分である世界を目指して、私は今日もアライシップを体現していきます。



トランスジェンダー当事者として、入社前や直後は働いていけるのか本当に不安でいっぱいでした。でも、そんな不安は入社後すぐになくなりました。LGBT+に限らず様々なバックグラウンドや価値観をもつメンバーが大勢いるデロイトトーマツグループでは、誰もが自分らしく働ける環境づくりを会社として推進していることが誇らしいですし、今後もメンバーの一員として、それぞれの目指す生き方を支え合っていきたいです。

違いに「気づく」・強みを「築く」

～一人ひとりが活躍する会社から、一人ひとりが活躍する社会を～

#アライ #社内風土 #アライネットワーク #寄付

アライである私が入社直後に嬉しかったのは、様々な場面でLGBT+に関する取り組みやアライ活動に触れる機会が多いこと。リーダーとの対話イベントや、DEIニュースレター、アライネットワークなどだけではなく、たとえばグループ全体で実施された寄付月間キャンペーンでは、LGBT+関連のNPOが寄付先として推薦されているなど、1人のアライとして具体的なアクションを取れる機会や場が多くて嬉しい。アライとして大切なのは、まずは「知る」こと。そして、1人から2人、2人から4人と、アライ活動を伝播させていくこと。それが実現できる環境だと思う！

#トランスジェンダー #トランジション #特別休暇

トランジション途中で入社した際、通称名の使用やトイレの問題等、本当に細かい点まで温かい雰囲気の中で私の気持ちをきちんと確認してくれたことが、精神面で大きな支えになった。また、海外で性別移行手術を受けたときは、有給休暇だけではなく特別休暇制度も利用することができて、2か月ほどの期間をすべてカバーすることができたのは安心でした。

#勉強会 #イベント

全社必須の研修以外にも、当事者による経験談やディスカッションなど、多様な勉強会やワークショップが開催されている。社会的な課題から日常業務で起こりうるケースなどを踏まえて作られたコンテンツは、カミングアウトしている当事者が周りにいてもなくても、しっかりとLGBT+の立場や観点などについて考えられる内容になっていて、正直すごく学ぶことができます。

#ガイドライン #相談窓口

アライそして管理職の一人として、LGBT+当事者が監修するガイドラインや相談窓口が本当に頼もしい！実際にLGBT+当事者メンバーが新卒で入社した際には、しっかりとコミュニケーションをとりながらサポートすることができ、そのメンバーは今、組織で大活躍してくれている。

#PRIDE指標

「PRIDE指標^(※)ゴールド」を連続受賞していることで、当事者が安心できる職場だと思い入社しました。

※PRIDE指標：職場におけるLGBT+への取り組みに対する評価指標。
デロイト トーマツ グループは2018年以降連続で最高位のゴールドを受賞。



さまざまな観点から、Diversity, Equity & Inclusionを推進しているデロイト トーマツ グループ。こちらのニュースレターでは、LGBT+ インクルージョンについて、実際にデロイト トーマツ グループで働いているメンバーから寄せられた声をお届けします。

#アライグッズ

社内で障がいのあるメンバーが制作しているグッズは数多くあるけど、その中でも私のイチオシはレインボーキャンドル！在宅勤務中も社内のLGBT+メンバーやアライネットワークとのつながりを感じられるし、売上が寄付になるのも最高！

#社会変革

デロイト トーマツ グループは、婚姻の平等やLGBT+ 平等法などの社会変革につながるキャンペーンに公式に賛同を表明している。LGBT+ 当事者として、自分の会社がこのようにLGBT+ に対するコミットメントを明確に示す姿勢をとっても心強く感じている。

#アライ #レインボープライド #家族

子どもをもつアライです。グループがレインボープライドに参加しているのをきっかけに、子どもたちと一緒にパレードに参加して、様々なことを子どもたちに教えることができました。他にも、DEI ブログやレポートなど対外的に発信しているものも多く、家族と一緒に考えられる話も多いです。

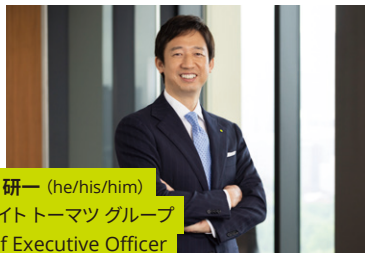
#当事者 #サポート #イベント登壇

入社してよかったのは、サポートの手を差し伸べてくれる仲間にあふれていたこと。当事者として改めて感謝を伝えたい。社内イベントで当事者として経験を話せる場もあり、声をあげていきたい人にこのような機会が豊富にあるのも魅力だと思う。

#LGBT+教育 #出張授業

学生向けにLGBT+ インクルージョンに関する出張授業なども行って、講師として参加した。次世代を担う学生さんに向けて、インクルーシブな社会の大切さを伝えられて嬉しかった！

Messages from our leaders



木村 研一 (he/his/him)
デロイト トーマツ グループ
Chief Executive Officer



木久保 理絵 (ze/hir/hirs or Rie)
デロイト トーマツ グループ
Chief Talent Officer & DEI Leader

デロイト トーマツ グループは、誰もが自分らしく活躍できるインクルーシブな社会の構築を目指しています。これは、決して我々のファームだけで実現できるような簡単なことではないと理解しています。しかし、私たちが絶えず挑戦を続けることで、社会全体の変化へ貢献できることもあると、私は考えます。デロイト トーマツ グループは、これからもLGBT+インクルージョンを含むDEIを強く推進していきます。

私たちは誰もが、「他の誰とも違う、一人の人間」として生きています。逆に言えば、それぞれの細やかな違いが考慮されないと、その人ではない「他の誰か」になってしまうのです。中でも、ジェンダーのグラデーションは、自分らしくあるために重要な基盤の一つでもあります。一人ひとりを持つ違いを大切にしながら、互いにその違いを尊重しあい、よりインクルーシブな未来の実現に向け一緒に歩んでいきましょう！

デロイト トーマツ グループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッド および デロイト ネットワーク のメンバーであるデロイト トーマツ 合同会社 ならびに そのグループ 法人 (有限責任監査法人 トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャル アドバイザリー 合同会社、デロイト トーマツ 税理士 法人、DT 弁護士 法人 および デロイト トーマツ コーポレート リソリューション 合同会社 を含む) の総称です。デロイト トーマツ グループは、日本で最大級の プロフェッショナル グループ のひとつであり、各法人がそれぞれの 適用法令 に従い、監査・保証 業務、リスク アドバイザリー、コンサルティング、ファイナンシャル アドバイザリー、税務、法務等を提供しています。また、国内約 30 都市に約 1 万 7 千名の 専門家 を擁し、多国籍 企業 や 主要な 日本 企業 をクライアント としています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト (www.deloitte.com/jp) をご覧ください。

Deloitte (デロイト) とは、デロイト ウィシュ トーマツ リミテッド ("DTL")、そのグローバル ネットワーク 組織 を構成するメンバーファーム および それらの 関係法人 (総称して "デロイト ネットワーク") のひとつまたは 複数 を指します。DTL (または "Deloitte Global") ならびに各メンバーファーム および 関係法人 は それぞれ 法的 に 独立した 別個の 組織体 であり、第三者 に関して 相互 に 義務 を 課し または 拘束 することは ありません。DTL および DTL の各メンバーファーム ならびに 関係法人 は、自らの 作為 および 不作為 についてのみ 責任 を 負い、互いに 他の ファーム または 関係法人 の 作為 および 不作為 について 責任 を 負う ものではありません。DTL は クライアント への サービス 提供 を 行いません。詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。デロイト アジア パシフィック リミテッド は DTL のメンバーファーム であり、保証 有限責任 会社 です。デロイト アジア パシフィック リミテッド のメンバー および それらの 関係法人 は、それぞれ 法的 に 独立した 別個の 組織体 であり、アジア パシフィック における 100 を 超える 都市 (オークランド、バンコク、北京、ハイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京 を含む) にて サービス を 提供 しています。

Deloitte (デロイト) は、監査・保証 業務、コンサルティング、ファイナンシャル アドバイザリー、リスク アドバイザリー、税務、法務 などに関連する 最先端 の サービス を、Fortune Global 500® の 約 9 割 の 企業 や 多数 の プライベート (非公明) 企業 を 含む クライアント に 提供 しています。デロイト は、資本市場 に対する 社会的 な 信頼 を 高め、クライアント の 変革 と 繁栄 を 促し、より 豊かな 経済、公正 な 社会、持続 可能な 世界 の 実現 に向けて 自ら 率先 して 取り組む こと を 通じて、計測 可能 で 継続 性 の ある 成果 を もたらす プロフェッショナル の 集団 です。デロイト は、創設 以来 175 年 余り の 歴史 を 有し、150 を 超える 国・地域 に わたて 活動 を 展開 しています。"Making an impact that matters" を パーパス (存在理由) として 標榜 する デロイト の 約 41,500 名 の 人材 の 活動 の 詳細 については、(www.deloitte.com) を ご覧ください。

本資料 は 皆様 へ の 情報 提供 として 一般 の 情報 を 掲載 する のみ であり、デロイト ウィシュ トーマツ リミテッド ("DTL")、そのグローバル ネットワーク 組織 を 構成するメンバーファーム および それらの 関係法人 (総称して "デロイト ネットワーク") が 本資料 を もって 専門的 な 助言 や サービス を 提供する もの で は ありません。皆様 の 財務 または 事業 に 影響 を 与える よう な 意思 決定 または 行動 を される 前に、適切 な 専門家 に ご相談 ください。本資料 における 情報 の 正確 性 や 完全 性 に関して、いかなる 表明、保証 または 確約 (明示・黙示 を 問はず) を する もの で は ありません。また DTL、そのメンバーファーム、関係法人、社員、職員 または 代理人 の いずれも、本資料 に 依拠 した 人 に 関係 して 直接 または 間接 に 発生 したいかなる 損失 および 損害 に対して 責任 を 負いません。DTL ならびに 各メンバーファーム および それらの 関係法人 は それぞれ 法的 に 独立した 別個の 組織体 です。

Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited

© 2023. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.

デロイト トーマツ
グループ 全体 に関する
案内 は こちら



IS 669126 / ISO 27001



BCMS 764479 / ISO 22301